

小笠原ビジターセンター・大神山公園



ニュース

レター

2013年8月1日発行
Vol. 8

NEWS LETTER

東京竹芝から南に約1,000km、唯一の定期船「おがさわら丸」で約25時間半のところに位置する「小笠原諸島」。その中で約2000人が生活している「父島」に都立大神山公園があり、園内に小笠原諸島全体の情報を提供する「小笠原ビジターセンター」が立地しています。

トピック ビジターセンターTOPICS

ハカラメ葉書作り

2日(金)
16日(金)
19:00~



ハカラメを入れて、手作り葉書を作ろう♪

《8月のイベント情報》

レイ作り

4日(日)
12日(月)
19:00~



島の素材だけを使ってオリジナルレイを♪

タコ/葉細工

19日(月)
26日(月)
19:00~



伝統工芸タコノ葉細工でプレスレット作り！

世代カー

〈大神山公園〉
お祭り広場周辺

3日(土)・7日(水)・10日(土)・14日(水)
17日(土)・21日(水)・24日(土)・28日(水)



13:30~、14:30~
(各日2回実施 30分程度)

ビジターセンター周辺を解説員と回って、小笠原の自然を楽しもう♪
※雨天の場合は、ビジターセンター館内解説ウォークに変更。

魚セミナー

6日(火)
13日(火)
19:00~20:00



スノーケリングで見られる魚たち

首都大学公開講座

第2回「自然と社会と文化」

18日(日)

19:30
20:45

①「乾きに耐える乾性低木林の植物」講師：石田 厚(京都大学 生態学研究センター)

父島の樹木が乾燥に耐えるようにどのように適応・進化してきたか、また今後温暖化などによって乾燥がひどくなると父島の森林がどうなるかを、最近の研究結果をもとに紹介します。

19日(月)

9:00
10:00

②「対談：昔の地図、写真を見ながら当時の生活や思い出を聞こう！」

お話：大平 京子 聞き手：ダニエル・ロング

日本人として生きる欧米系島民：戦前の生活、強制疎開、米軍統治下の生活をふりかえります。



大平 京子さん ダニエル・ロングさん

開館カレンダー 2013年8月

開館日 開館時間 8:30~17:00 夜間 開館日 開館時間 8:30~21:00

好評開催中!!



特別展「小笠原時間旅行」



特別展「南島」

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------|---------------------|-------------|-----------------------|----|----------------------|-----------------------|
| | | | | 1 | 2 ハカラメ 葉書作り | 3 入出港 ガイド ウォーク |
| 4 レイ作り | 5 | 6 魚セミナー | 7 入出港 ガイド ウォーク | 8 | 9 | 10 入出港 ガイド ウォーク |
| 11 | 12 レイ作り | 13 魚セミナー | 14 入出港 ガイド ウォーク | 15 | 16 ハカラメ 葉書作り | 17 入出港 ガイド ウォーク |
| 18 講演会 | 19 講演会 タコ/葉細工 | 20 (休館) | 21 入出港 ガイド ウォーク | 22 | 23 はしらいっく びいなす | 24 入出港 ガイド ウォーク |
| 25 | 26 タコ/葉 細工 | 27 (休館) | 28 入出港 ガイド ウォーク | 29 | 30 | 31 入出港 |

ビジターセンターでは小笠原の歴史や文化、動植物などの情報・映像をたくさん揃えておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい♪

産卵のため上陸するアオウミガメは、非常に神経質で人の気配や何か異常を感じると、卵を産まず海に帰ってしまいます。アオウミガメが無事に卵を産めるようご協力をお願いします。

夜間の大村海岸の立入りについて



- ライトは足元だけを照らし、海岸へは静かに入る。
- 海やウミガメに光を当てない。フラッシュ撮影しない。
- もしウミガメに出会ったら、ウミガメの視界から外れるまで動かない。
- 大声を出さない。
- ウミガメの前に立たない。
- ウミガメや産卵巣に近づかない。

ウミガメ調査のため 20:00～翌 2:00 まで大村海岸を海洋センターのスタッフが見回っています。スタッフからお声がけすることがあるかもしれません。その際にはご協力をよろしくお願いします。

ウミガメに関する緊急の夜間連絡先 海洋センター (夜間用電話) : 090-1461-3171 (20:00～翌 2:00)



産卵巣の上を踏まないように気をつけてね♪

産卵期間(5～8月)の大村海岸の立入りについては、上図の青い丸印の入口1ヶ所として、アオウミガメの上陸・産卵への影響を少なくしたいと考えています。



産卵巣



三本棒が目印!

見頃の植物

H25. 7. 25 現在

・気象の変化によりご覧頂けない場合がございます。ご了承ください。

小笠原固有種… (固)
広域分布種… (広)
外来種… (外)



オオハマギキョウ

(固) (大神山・大村中央地区)

島名センマイバ(千枚葉)。光沢のある濃緑色の葉をいっぱい付け、実生から約5年で頂部に白く小さな花を咲かし、種子をまくとやがて幹ごと枯れる。野ヤギの食害がひどく、園内では植栽したものを育てることができる。



テリハハマボウ

(固) (大神山地区)

島名ヤマイチビ。固有種でハイビスカスの仲間。比較的山地に自生する。オオハマボウによく似ているが、花と葉は小ぶりて葉には光沢がある。花は黄色から赤色に変わり一日で落ちてしまう。



オオハマボウ

(広) (大村中央地区)

島名カイガンイチビ。海岸近くに自生する常緑小高木。テリハハマボウと同様、花は黄色から赤色に変わり一日で落ちてしまう。この2種はどちらも一年中開花しているが今の時期はより多くの花をつける。



ゲンバイヒルガオ

(広) (大村中央地区)

つる性多年草。海岸の砂浜に広くつるを伸ばし、花は紅紫色でヒルガオに似ている。葉が相撲の行司が持つ「軍配」の形によく似ている事からこの名が付いた。



クサトベラ

(広) (大村中央地区)

島名カイガンタバコ。昔、葉をタバコの代用としていたことからこの名が付いた。海岸に生える代表的な常緑低木で、白くて紫色の筋の入った扇状の花を咲かす。



アリアケカスラ

(外) (大神山地区)

熱帯アメリカ原産のキョウチクトウ科でつる性低木。大きめで鮮やかな黄色のラッパ状の花を咲かせる。島ではバターカップの名で親しまれている。



ゴールドテンシャワー

(外) (大村中央・大神山地区)

インド原産。マメ科の熱帯性高木。黄色く藤のように垂れ下がった花を沢山つける。タイの国花としても知られている。



フルメリア

(外) (大神山地区)

熱帯アメリカ原産のキョウチクトウ科。冬は落葉し、春に新芽が出た後、開花する。小笠原ではハワイ同様、レイによく利用されている。



ゴバンノアシ

(外) (大村中央地区)

果実が萼盤の足に似ていることからこの名が付いた。白い4枚の花弁と紫がかった鮮やかな雄しべを持ち、夜開花する。小笠原では外来の植物ではあるが、絶滅危惧種。

発行者：小笠原ビジターセンター・大神山公園サービスセンター

〒100-2101 東京都小笠原村父島宇西町小笠原ビジターセンター内

TEL 04998-2-7170 ※8:00～17:30 (12:00～13:30休憩・年中無休)

モバイルサイト
QRコード



大神山公園

検索

ビジターセンターでのイベント情報や、園内を中心とした見頃の動植物などをリアルタイムで紹介!ぜひ一度ご覧下さい♪

指定管理者：公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター(協会の事業全般に関するお問い合わせ)
TEL 03-3232-3038 ※8:30～17:30 (土日・祝日。年末年始を除く)



ホームページ
平日毎日更新!